

【5月号：バナナの国で平泳ぎ】

<水泳：水泳教室>

いつも選手への競泳指導のことを書いていますが、選手クラスに入るまでクロール、背負泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの4泳法を学ぶのはこの国でも同じで、今回からしばらくその水泳教室について書きたいと思います。

僕が教えているのは選手だけではなく、選手の練習前に水泳教室でも指導します。選手になるためには選手クラスのコーチに実力を認めてもらう必要があります。目安の1つとしてタイムがありますが、配属先で大会に参加できるのは選手クラスだけです。つまり、進級するためにはコーチ陣の観察が大切になります。このような進級システムの弊害は、子供達の意欲が上がりにくいところにあります。



練習意欲が上がらないと、子供達がすることといたら遊びです。彼らは暑い地域に住んでいるので水泳教室に通うことが手軽な海水浴になります。コーチが目をそらすと、そのタイミングを見計らっているのかすぐに遊び出します。特に飛び込みが大好きなようで、助走をつけたり、回転しながら飛び込んだりと危ないことだらけです。本人たちはケガをしなければいいと思っているようで、我先にプールへ飛び込みます。実際に赴任当初から大きな事故はありませんが、重要なのはそこ

ではありません。「ケガ人が今までいないから大丈夫」という考えではなく、「危ないことを勝手にしない」が大切です。「危ないこと」とはこの場合、飛び込みでなぜ勝手にしてはいけないのか。子どもたちにはここから教える必要があります。「何が危ないことで、どうしてダメなのか」、怒鳴るだけの注意ではなく、ちゃんとした説明を付け加えることがプールで働く者としての責任だと考えますし、水難事故の予防策になるはずですよ。

<バナナ料理：カスエラ>

マチャラは海に面した土地という点で鳥取と似ています。魚介類が安く手に入るうえに新鮮でおいしいのが有名です。エビの養殖が盛んで日本にも輸出しているそうです。ですが魚介類は私の好きな食べ物ではないので周りにいつも残念と言われます。

今回紹介するのは、カスエラと呼ばれるバナナを使った料理です。バナナといっても料理用のバナナです。熟す前の緑色のバナナを想像してもらおうとわかりやすいと思います。スライスして揚げたものは、サツマイモの味がして美味しいです。皮が緑色をしていることから、スペイン語で緑色を表すヴェルデと呼ばれています。カスエラはこのヴェルデを使うのですが、実は魚料理なんです。スズキと訳されるコルヴィーナという白身魚を土鍋に入れ、その上からすりおろしたヴェルデをかけます。ヴェルデはあらかじめ香辛料をかけておきます。準備できたものをオーブンに入れ、ヴェルデの表面が焼きあがったら完成です。香辛料がカレースパイスなのか、ご飯と一緒に食べるとカレーそのもので美味しいです。カスエラは



煮込み料理という意味ですが、これは鍋焼きカレーでしょうか。懐かしさと新鮮さが相まって心もお腹も満足できる料理です。

<キト：エクアドル首都>

スペイン語の試験を受けるため、マチャラからバスでキトに行きました。これが長旅で約1週間キトに滞在したのですが、旅疲れと気候の変化に体が追いつかず滞在中は風邪で大変でした。

キトまではバスで約14時間かかります。ちなみに隣国ペルーまではマチャラから約1時間です。いかに辺境に住んでいるか数字でわかってもらえると思います。14時間かけて標高2800mを上り、気温も夏のものから秋に変わります。キトに行くことを上京と呼ぶのですが、上京の度に体調管理の難しさを感じます。

そんな体調ながらも試験を無事終えることが出来ました。国際的な試験でしたが、なんともアットホームな会場で受験でき、あまり緊張はありませんでした。しいて言うなら2つ。ヨーロッパ圏の人達の会話力には驚かされました。文法の正確さはさておき、口から単語が溢れ出るようでした。2つ目は会話の試験です。普段はコスタ訛りといって、海岸地域特有の早口スペイン語の中で生活しています。一方試験官の方々は、ゆっくりと一語一語丁寧に発音されるので、自分のスペイン語がいかにマチャラに影響されてるかわかりました。試験の途中で自信が無くなったのは言うまでもありません。

滅多に来られないキトですが、今回は他の用事もありました。エクアドルのスポーツ庁訪問です。スポーツ庁の大臣がマチャラにお見えになったことがあり、その時にスポーツ庁へ遊びにおいでと言われたので訪問しようと思ったのです。風邪さえ引いていなければ訪問できたのですが、帰りの長旅のことがあるので今回は訪問をキャンセルしました。

大臣とお話することができたのはサッカーにまつわるお話がきっかけでした。大臣は元サッカー選手で、2002年日韓ワールドカップの時に鳥取に来られたそうです。僕が鳥取から来たということで、寿司が新鮮で美味しかったというお話や、鳥取はとても静かなところで落ち着いて集中して練習が出来たというお話をしてくださいました。「2020年にはまた鳥取で！」とお互い言葉を交わしてその場が終わったのですが、今回のキト上京でお会い出来ず本当に残念でした。



キトはさすがエクアドルの首都ということもあり、スーパーが充実しています。万が一に備えて味噌を買いだめしました。日本食品専門店というのはありませんが、韓国や中国の方が経営するお店で日本食がたくさん売られています。色々感謝です。